

名称：気仙沼図書館で地域価値発見：フィールドワークと哲学カフェ  
「気仙沼てつがく探検隊」

開催日時：平成28年10月30日（日）9：30～16：00

開催場所：気仙沼図書館および周辺地域、気仙沼中央公民館

主催：立教大学SFR共同研究プロジェクト  
「立教大学文学部河野哲也研究室」

共催：気仙沼市教育委員会、気仙沼図書館、岡田新一設計事務所  
協力：面工房主宰齊藤典夫氏、気仙沼カトリック幼稚園

参加：ジュニア・リーダー（小・中学生7名）

立教大学ファシリテーター・スタッフ：河野哲也（文学部教育学科教授）  
中村百合子（文学部学校・社会教育講座准教授）、奇二正彦（生態計画  
研究所主任研究員）、福井夏海（異文化コミュニケーション研究科博士課程  
前期課程修了生）、渡邊文（文学研究科博士課程前期課程）

気仙沼市担当：熊谷英樹（気仙沼図書館長）、千田基嗣（本吉図書館長）  
千葉正幸（生涯学習課長補佐）、神谷卓也（同生涯学習係主幹）

記録：柳瀬寛夫（岡田新一設計事務所取締役社長）、進藤麻理（同図書館設計担当）

特別参加：Joan Portell Rifà夫妻（ジョアン・ポルテル・リフ：スペイン・カタ  
ロニア州バルセロナ在住児童文学者／絵本作家）、Gareth Jones（ギャ  
レス・ジョーンズ：香港聖公会神学校院長）、高橋一也（陸前高田市役所）

目的：学年を越えて子どもたちが集まり、地域の自然と文化、歴史、  
産業を「フィールドワーク」で体験し、自分たちの住んでい  
る場所の価値と問題を見つめ直し、これからどのような地域  
社会をどのようにつくっていけばよいかを「哲学カフェ」で  
話し合う。（なお、図書館は新館完成まで仮設利用のため、哲学カ  
フェは中央公民館に会場を借りた。）



### 1. フィールドワーク：ファシリテーター奇二正彦（9：30～12：30）

①中央公民館に集合、オリエンテーションの後、車にて仮設図書館へ。  
そこからスタート。双眼鏡、ルーペ、プラスチックカップ、ジップロックを各自に  
配付。2班に分かれ1名が筆記係としてクリップボードのマップに気づいたことを  
記録。生態学の専門家であるファシリテーターが歩きながら、解説+問いかける。  
子どもたちは自分たちの眼と感覚でさまざまな発見を繰り返した。



用具類の使い方説明



植物、昆虫、鳥、天候…そして墓地を  
抜けると「海」が開けて見えた。その  
手前、カトリック幼稚園では家族参加  
の園祭（作品展）でにぎわっていた。



②カトリック  
幼稚園にて、  
作品展を見学。  
そのクオリ  
ティの高さに  
みな感嘆



③面工房にて、昔の家  
において一家の象徴だ  
った釜を守る釜神様の  
由来、その制作工程を  
齊藤典夫氏より伺った



キツツキが  
木の実をつ  
ついている  
珍しい光景  
発見。



↓  
双眼鏡で詳  
細に観察  
↓  
図書館長撮  
影「気仙沼  
の鳥写真フ  
ォイル」を  
活用しファ  
シリテーターが解説  
↓  
子どもたち  
はグループ  
ごとに、用  
具を試しな  
がら様々な  
発見を楽し  
んでいた。



④戻ってから、採集成果をみんなで再確認

### 2. 哲学カフェ：ファシリテーター 河野哲也、書記 渡邊文（13:30～15:00）

①立教大学ビデオ教材をもとに趣旨・進め方を説明 ②椅子取りゲームにて座席を決定 ③毛糸  
を巻きながら自己紹介 ④ファシリテーターが毛糸の芯を抜き束ねてコミュニケーションボールを  
完成 ⑤そのボールを持った人が喋る手順でスタート。 子ども7名に、ファシリテーターを含め  
大人8名を加え議論しあう。まず、本日のフィールドワークを通して気づいたことの発表。  
次に、議論したいテーマをみんなで決定した。→「どうしたら身近なものに気づくようになる？」



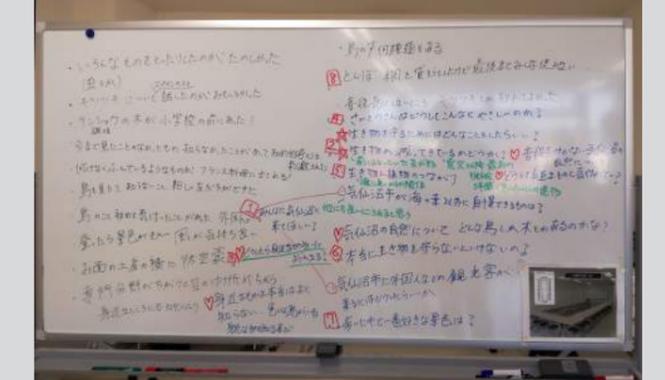
議論したいテーマを目を伏せて多数決



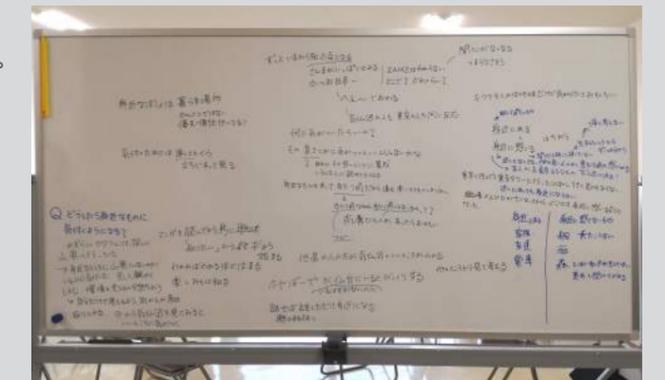
コミュニケーションボールを持った人が発言

テーマに沿って議論を進めて  
いるうちに、「身近にある」  
と「身近に感じる」とは違う  
ことに、みな気づかされた。  
例えば、家族や友達、電車は  
「身近に感じる」が、「海」  
や「船」は身近にあっても  
「身近に感じない」子どもた  
ちが多かった。

「どうしたら身近なものに気  
づくようになる？」というテ  
ーマそのものが正確でなかつ  
たことも指摘され、それぞれ  
に問題意識を高めて終了した。



ホワイトボード表面：それぞれ気付いたことを列記、グルーピング



ホワイトボード裏面：テーマに沿って議論された内容を記録

### 3. 図書館にて本をさがす：（15：15～16：00過ぎ）

興味の高まった分野の本をさがし、その場で借りた人もいた。  
終了後アンケート用紙に感想を書いてもらい解散。全員次回も参加したいとの回答だった。



図書館長・司書から図書案内をしていただいた